

参考

JUSE・QCC-F002-改訂1版

QCサークル経験実績証明書（QCサークル指導士用）

悪い例

氏 名：日科 一郎	勤務先名：日科工業株式会社
電話番号：（勤務先）03-●●●●-●●●●	勤務先所在地：〒166-0003 東京都杉並区高円寺南1-2-
（自宅）03-●●●●-●●●●	日科技連ビル1階

本紙は、実績の記入例であり、登録に当たっての経験の十分・不十分を示すものではありません

活動期間 （西暦年月日） ～いつから いつまで～	年数	企業内でのQCサークル に関する役職 QCサークル本部、支部、 地区での役職	QCサークル推進・指導の 主な業務内容 （具 体 的 に）	証 明 者			備 考 （添付書類名など）
				団体名、会社名	役 職	氏 名	
2000年～ 2003年	3	●●工場 品質管理部 QCC推進課	QCサークル推進課の業務	日科工業(株)		山田 太郎	
2002年3月1日～		QCサークルチームメンバー	QCサークルチームのリーダー	日科工業(株)	品質管理室 室長	鈴木 三郎	
2004年3月1日～		QCサークル●●支部 ●●地区	地区行事の運営	日科工業(株)	品質管理室 室長	鈴木 三郎	
2005年4月1日～	6	●●工場 製造部長	部内QCサークルの活動支援	日科工業(株)	●●工場長	山田 太郎	
現在	3	QCCアドバイザー	QCサークルへのアドバイス	日科工業(株)	品質管理室 室長	鈴木 三郎	

企業の所属・役職だけでは、企業により業務内容が異なるため、不十分

支部・地区の業務を証明するのに、申請者の勤務先上司は不適当

実務経験には、リーダー及びメンバー経験は含まれない。（推進・指導実績を具体的に記入する）

活動期間が不明確。開始と終了の年月日を記入（業務内容によっては年月でも）

業務内容に具体性がない。この場合、実態を証明できるエビデンスが必要

業務内容が不明の役職の証明書などはエビデンスにならない